

# 明治以降の旭区のあゆみ

明治	4年 (1871)	廃藩置県（大阪府を置く） 旭区域は摂津県東成郡に属す	
	6年 (1873)	千林小学校創立	
	8年 (1875)	淀川修築工事着工 水制（ケレップ）工事が始まる 中村小学校（現、城北小学校）創立	
	18年 (1885)	淀川左岸決壊し、大洪水が起こる。翌年にかけてコレラが大流行	
	22年 (1889)	市制町村制施行（大阪市発足） 旭区域は東成郡のまま 清水、古市、城北村がこの頃成立	
	29年 (1896)	淀川大洪水 翌年から淀川改良工事が始まる	
	43年 (1910)	京阪電車開通（天満橋～五條間） 蒲生・野江・森小路駅開設	
	45年 (1912)	この頃、千林商店街ができる	
	大正	6年 (1917)	城北村に初の上水道給水
		7年 (1918)	米騒動が起こる
11年 (1922)		古市・清水小学校創立 関西工学専修学校(現大阪工業大学)創設	
13年 (1924)		古市耕地整理組合設立 城北村で共同浴場開設	
14年 (1925)		大阪市第二次市域拡張 旭区域が市域に編入され東成区に	
15年 (1926)		城北土地区画整理組合設立	
昭和		2年 (1927)	京阪国道(現、国道1号)の舗装工事始まる 京阪電鉄にロマンスカー登場
	3年 (1928)	片町～森小路、東野田6丁目～森小路1丁目間で区内初の市バス運行	
	4年 (1929)	区画整理事業による町名変更が行われる（昭和20年まで） 森小路、北船場、大宮で土地区画整理組合設立	
	5年 (1930)	榎並之荘、清水で土地区画整理組合設立	
	6年 (1931)	市電都島～守口間開通 森小路遺跡が発見される	
	7年 (1932)	旭区が誕生（東成区から分区） 新森中央公園開園	
	8年 (1933)	京阪国道(現、国道1号)開通 京阪電鉄蒲生～守口間高架複々線工事完成	
	9年 (1934)	城北公園開園 室戸台風襲来	
	12年 (1937)	御堂筋竣工	
	15年 (1940)	城北運河（現、城北川）完成	
	18年 (1943)	南半分が城東区、一部が都島区となり、現在の旭区となる。旭公園開園	
	20年 (1945)	大阪市東北部大阪大空襲（6月7日） 終戦（8月15日）	
	24年 (1949)	旭区役所庁舎再建（火災焼失のため）	
	28年 (1953)	台風13号による大洪水が起こる	
	32年 (1957)	今里～守口間でトロリーバス運転開始 ダイエー1号店が千林にオープン	
	38年 (1963)	太子橋中公園開園	
	39年 (1964)	城北公園に菖蒲園開園	
	43年 (1968)	阪神高速道路北浜～森小路間開通	
	44年 (1969)	市電全廃	
	45年 (1970)	豊里大橋完成、平太の渡し廃止 旭区役所新庁舎完成 万国博覧会開催	
46年 (1971)	阪神高速道路守口線開通 旭区全域が下水処理区域になる		
48年 (1973)	城北運河魚釣り場オープン		
49年 (1974)	城北運河歩行者専用道路完成 大阪市分区により26区に		
50年 (1975)	旭図書館、区老人福祉センター開設		
52年 (1977)	地下鉄谷町線都島～守口間開通 千林大宮、太子橋今市駅設置		
58年 (1983)	淀川大堰竣工		
平成	元年 (1989)	菅原城北大橋開通 大阪市合区により24区に	
	2年 (1990)	国際花と緑の博覧会開催	
	6年 (1994)	旭スポーツセンター開設	
	12年 (2000)	旭区民センター・芸術創造館・旭図書館完成	
14年 (2002)	旭屋内プール、城北市民学習センター開設		

※「ぶらり探訪 旭の見どころ・知りどころ」より抜粋



写真■大正時代の京街道

## 第1章

### 旭区いまむかしの今昔